



緑化を目的に、苔(コケ)を植栽したタイル

苔(コケ)と外装タイルが一体化したタイル。断熱効果、吸音効果が得られる。アルミ下地レールにタイルをはめる。それと同時に壁面緑化がなされる。タイルの着脱、組合せ自由。建築作業も容易。

「苔(コケ)タイル」の他、「蔦(ツタ)タイル」「中空タイル」をラインアップする。

業況等の動向について

本業の動向について

主業は、窯業原料製造販売 建築用タイル製造販売 信楽焼をはじめとする陶製品と住空間の店「大小屋(おおごや)」。

業況はやや不調。大小屋(おおごや)のレストラン事業は底堅い需要を感じるものの、窯業、建築関連はそれを感じない。

参入事業の概要

壁面緑化タイル。建物壁面の緑化を目的とし、断熱効果、吸音効果が期待できる。タイルの種類は次のとおり。苔(コケ)タイル 蔦(ツタ)タイル 中空タイル。

苔タイルは、乾燥に強いスナゴケを植栽する。外装タイルとスナゴケが一体している。タイルをはめると同時に緑化がなされる、シングル工程で、施工が容易。

蔦(ツタ)タイルは、タイルを施工後、蔦をはわせる。タイルに水をまいて、蔦を成長させる。タイルは中空構造で、特殊施釉している。水をまくと、タイル表面に水が拡散される。(タイル素地は吸水率が低い。保水しない。)その結果、タイル全面、壁全体を冷やすことができる。打ち水効果がある。

苔、蔦といった植物なしの、タイルのみ。中空構造。

いずれも、乾式工法を採用。躯体とタイルの間にアルミ下地レールがあり、タイルを引っ掛けて固定する。モルタルや接着剤を使用しないので、施工も容易。着脱が可能。タイルの組合せも自由自在。植物の根や水が躯体に浸入するのを防ぐことができる。

ゼネコン、設計事務所へアプローチ。商業施設での採用が進む。

壁面緑化タイルのリース販売を開始した。アフターメンテナンス付きのリース販売もあり。イニシャルコストが抑えられ、アフターメンテナンスの心配もなくなるので、お客様にとって、導入し易くなったのではないかと考える。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

バブル崩壊後、市場の転換点を迎えたと考え。環境、教育、福祉分野への市場拡大が見込まれると考えたから。

マーケティングについて

緑化建材が数多く競合する中、製品特性「軽量・防水性・不燃性・緑化効果・断熱・防音」について、定量的にデータを取得し、性能を<見える化>した。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果のあったことは、異業種と協業できたこと。マーケティング手法の獲得。困難だったことは植物を扱うことである。

今後の展望・見通し

環境・省エネの時代である。省エネ、カーボンフットプリントの観点で、壁面緑化タイルは、緑化、都市のヒートアイランド現象の緩和に寄与するものである。時代の要請に応えるものと考えている。

メリット・デメリット

メリットとしては市場の拡大、未来を見据えた市場開拓ができたこと。デメリットとしては開発費用の大きさ。加えて、売れるようになるまで時間がかかること。

異業種参入時のアドバイス

商流のチャンスをつかむことと、時流とのマッチングが大事と考える。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

新連携事業認定:資金、マーケティング支援
地域イノベーション創出研究開発事業:資金支援、大学、研究機関との協業

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

国の情報共有、連携をよくして欲しい。施策の継続性、一貫性が望まれる。

会社概要

設立:1941年2月(昭和16年)

資本金:9,500万円

従業員数:57名(平成18年10月現在)

URL: <http://www.oumi-k.co.jp/>